

茨城県文化振興計画に基づく施策の取組状況について

(令和2年度第1回茨城県文化審議会資料)

目次・事業体系

I 人材の育成 … P 1

- (1) 文化の担い手の育成及び確保
- (2) 次世代を担う子どもたちの育成
- (3) 文化に関する教育の充実

II 文化の振興 … P 14

- (1) 芸術の振興
- (2) 伝統文化の継承及び発展
- (3) 生活文化等の振興
- (4) 文化を活用した地域づくり
- (5) 文化交流の推進

III 文化的資産の活用 … P 28

- (1) 文化的資産の活用
- (2) 文化財の保存等
- (3) 公共の建築物の建築に当たっての配慮

IV 文化活動の充実 … P 31

- (1) 県民の文化活動の充実
- (2) 高齢者・障害者等の文化活動の充実
- (3) 青少年の文化活動の充実

V 文化活動の支援体制の充実等 … P 37

- (1) 文化情報の収集及び提供
- (2) 推進体制の整備
- (3) 文化施設の機能の充実
- (4) 地域における文化活動の支援
- (5) 財政上の措置
- (6) 顕彰

VI いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会及び東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化の向上 … P 54

- (1) いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会における文化プログラムの実施
- (2) 東京オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムの実施

【凡例】

- ・事業KPIについては、原則として、政策的経費のみ記載している。
- ・事業KPIの基準及び目標に係る時点は、県総合計画（H30.11月策定）の計画期間と整合している。

【事業の評価】

- ・目標の達成度100%以上 「期待以上の成果」
- ・ 80～99% 「概ね期待通りの成果」
- ・ 50～79% 「期待した成果を下回っている」
- ・ 50%未満 「期待された成果があがっていない」

I 人材の育成

1 施策の方向

文化の担い手や次世代を担う子どもたちの育成とともに、文化に関する教育の充実を図る。

2 課題

本県文化の裾野を広げていくためには、柔軟で感受性の優れた年代の子どもたちをはじめ、多くの県民が、質の高い文化を鑑賞・体験する機会の充実を図る必要がある。

また、少子高齢化や過疎化が進む中、文化芸術活動の担い手の高齢化や後継者不足が懸念されており、芸術家や文化団体の活躍する場や発表の機会を提供するなど、文化の担い手を育成する機会の一層の充実を図る必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化の担い手の育成及び確保

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①茨城県芸術祭★1 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:15,000 R2 当初:15,000	県民が優れた芸術創作活動の成果を発表・展示するとともに、県民へこれらを鑑賞する機会を提供することにより、心豊かで潤いのある生活を実現することができるよう芸術祭を開催する。	・期間:令和元年10月6日～令和2年1月19日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館等 ・参加者数:7,486人 ・入場者数:26,438人	・期間:令和2年10月3日～令和3年1月17日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館等 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、27催事中14催事が中止となっている。また、県負担金については、当初予算15,000千円より11,624千円に減額となっている。
②高校生のための公開レッスン★2 (生活文化課)	高校生を対象に世界的な演奏家である水戸室内管弦楽団による公開レッスンを実施し、高校生の演奏技術や指導者の指導技術の向上を図る。さらに、レッスン終了後には、講師によるミニコンサートを実施し、質の高い演奏を聴く機会の提供を図る。	1 第1回 ・期日:7月15日 ・受講団体:水戸女子高等学校 ・入場者数:331人	<実施予定> ・実施期間:2月～3月 ・受講団体:勝田高, 土浦一高, 下妻一高, 並木中等

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
【前ページの続き】 ②高校生のための公開 レッスン (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:4,673 R2 当初:3,000		2 第2回 ・期日:10月26日 ・受講校:明秀学園日立高・境高・霞ヶ浦高・水戸一高 ・入場者数:196人	※新型コロナウイルス感染症の影響により、当初6月に実施を予定していたところを見合わせていた。 ※令和2年度は、受講校での事前レッスン(全2～3回)と公開レッスン(1回)を実施予定。
③文化芸術体験出前 講座★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:15,170 R2 当初:19,400	児童生徒が本格的な文化芸術に触れる機会を提供し、将来の担い手や鑑賞者を育成するとともに、若手演奏家や文化芸術活動団体等に活躍の場を提供する。また、文化芸術活動団体と学校との連携・協力体制構築の促進を図る。	実施校数:86校 参加者数:12,126人 ○音楽【49校】 ○伝統文化(茶道・華道)【13校】 ○美術(書・陶芸・絵画)【15校】 ○子ども文化芸術大学【9校】 ※新型コロナウイルス感染症の影響により2月実施予定の講座については中止となった。	実施校数:88校 参加者数:— ○音楽【55校】 ○伝統文化(茶道・華道)【15校】 ○美術(書・陶芸・絵画)【14校】 ○その他(食文化・能楽)【4校】 ※令和2年度中実施分として、追加募集を実施予定。 ※子ども文化芸術大学は令和元年度をもって事業終了。
④新人演奏会 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:2,000 R2 当初:2,000	本県出身等の新人演奏家に発表の機会を提供して演奏技術の向上を図り、もって地域音楽活動の指導者育成及び本県の音楽文化の振興・向上に資する。	第45回茨城県新人演奏会 期日:令和元年6月23日(オーディション) 令和元年9月29日(本演奏会) 場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール オーディション参加者数:32名 本演奏会出演者数:16名 新人賞2名、奨励賞1名、聴衆賞1名 総入場者数:588人(全席自由)	第46回茨城県新人演奏会 期日:令和2年9月27日(オーディション) 令和2年11月29日(本演奏会) 場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール オーディション参加者数:30名 本演奏会出演者数:15名 新人賞2名、奨励賞1名、聴衆賞1名、特別賞1名

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
⑤茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算: - R2 当初: -	笠間市で平成17年から開催され、平成28年度に県が共催として参加することとなった「茨城国際音楽アカデミーin かさま」(旧:かさま国際音楽アカデミー)で講師を務める世界的な音楽家等の演奏を広く県民が鑑賞できる機会を提供する。	(H30年度をもって事業終了)	(H30年度をもって事業終了)
⑥笠間陶芸大学校事業 (産業政策課) 決算額等(千円) R1 決算:10,572 R2 当初:8,544	陶芸に関する専門的な知識及び高度で多様な技術等を習得させる。 ・陶芸学科 2年制, 定員1学年12名 ・研究科 1年制, 定員若干名	令和元年度は陶芸学科19名, 研究科3名の合計22名が在学し, 特任教授を中心としたカリキュラムや各種広報活動を実施した。	令和2年度は陶芸学科22名, 研究科3名の合計25名が在学し, 引き続き, 特命教授を中心としてカリキュラムの充実を図るとともに, 全国から優秀な人材を集めるため, 積極的なPRを実施する。 ※新型コロナウイルスの影響により4/14~5/24まで休校, 5/25~分散登校, 6/8~通常登校。
⑦郷土民俗芸能の集い(民俗文化財活性化促進事業) (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:202 R2 当初:205	県内に伝承されている民俗芸能のうち, 国や県指定及び市町村指定等の無形民俗文化財を広く県民に公開し, 文化財に対する理解と認識を深めるとともに, 保存意識の高揚及び後継者の育成, 伝承保存を図る。	・期日:令和元年11月9日(土) ・場所:常陸大宮市大宮公民館塩田分館グラウンド ・公開芸能:5芸能 ・来場者:700人	・期日:令和2年10月17日(土) ・場所:小美玉市四季文化館「みの〜れ」 ・公開芸能:5芸能 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
⑧子ども伝統文化フェスティバル (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:1,374 R2 当初:5,000	伝統文化活動を行う子どもや大人に日頃の練習の成果を発表する機会を提供し、発表する子どもたちの意欲向上、観覧する県民への興味喚起を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・期日:9月29日(日) ・場所:国営ひたち海浜公園 水のステージ ・発表団体数:8団体 ・入場者数:約980人 ※これまでは地域の文化ホールで開催してきたが、H30年度から集客力のある商業施設等で開催。	※新型コロナウイルス感染症の影響により開催未定
⑨食生活改善地区組織育成・強化推進事業 (健康・地域ケア推進課) 決算額等(千円) R1 決算:1,487 R2 当初:1,487	地域における食を通じた健康づくりの取組を推進するため、地区組織育成リーダー研修会を開催する。協議会が実施する食生活改善活動の企画や連絡調整、組織の充実強化を図るための助成を行う。	地区組織リーダー育成研修会 <ol style="list-style-type: none"> 1 市町村会長等研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・期日:8月29日 ・会場:いこいの村溜沼 ・参加人数:116人 2 食生活改善推進員リーダー育成研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・期日:12月5日 ・会場:茨城県立健康プラザ ・参加人数:115人 	地区組織リーダー育成研修会の開催 <ol style="list-style-type: none"> 1 市町村会長等研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・期日:8月24日～28日 ・方法:YouTubeを用いたWeb研修 2 食生活改善推進員リーダー育成研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・期日:10月19日～10月28日 ・方法:YouTubeを用いたWeb研修 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、Web研修とする。

(2) 次世代を担う子どもたちの育成

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>①親子を対象としたオーケストラコンサート</p> <p>★2</p> <p>(生活文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R1 決算:8,103</p> <p>R2 当初:6,701</p>	<p>4歳以上の親子を対象に、新人演奏会の優秀者とオーケストラをジョイントしたコンサートを開催することで、感受性豊かな子どもたちに鑑賞機会を提供するとともに、若手演奏家に発表の機会を提供することで、将来の文化芸術を担うアーティストの育成を図る。</p>	<p>1 県北地区公演</p> <p>・期日:8月31日</p> <p>・会場:常陸太田市民交流センター(パルティホール)</p> <p>・入場者数:740人</p> <p>2 県央地区公演</p> <p>・期日:9月1日</p> <p>・会場:ひたちなか市文化会館</p> <p>・入場者数:1,091人</p>	<p>県央地区公演</p> <p>・期日:1月24日</p> <p>・会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館</p>
<p>②近代美術館美術普及事業</p> <p>(文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R1決算:26,191</p> <p>R2 当初:30,869</p>	<p>県民の美術への親しみや関心を深めるため、普及活動を積極的に実施する。</p>	<p>1 アートフォーラムの運営</p> <p>パネル、画材等による展示活動映像、美術図書等による情報提供</p> <p>2 学校教育連携事業</p> <p>美術館セミナーの開催:年3回</p> <p>3 美術講演・講座等の開催</p> <p>美術講演会・美術講座:年5回</p> <p>子どものためのオープンワークショップ:年2回</p> <p>ミュージアムシアター(映画会):※中止</p> <p>ミュージアムコンサート:年3回</p> <p>4 美術館情報交流ネットワーク事業</p> <p>①美術館情報交流ネットワーク拠点機能の整備</p> <p>高精細デジタル映像ソフトによる所蔵品紹介、モバイル機器への情報提供等</p>	<p>1 アートフォーラムの運営</p> <p>パネル、画材等による展示活動、映像、美術図書等による情報提供</p> <p>2 学校教育連携事業</p> <p>美術館セミナーの開催:年3回</p> <p>3 美術講演・講座等の開催</p> <p>美術講演会・美術講座:年8回</p> <p>子どものためのオープンワークショップ:※中止</p> <p>ミュージアムシアター(映画会):※中止</p> <p>ミュージアムコンサート:年3回</p> <p>4 美術館情報交流ネットワーク事業</p> <p>①美術館情報交流ネットワーク拠点機能の整備</p> <p>高精細デジタル映像ソフトによる所蔵品紹介、モバイル機器への情報提供等</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>【前ページの続き】</p> <p>②近代美術館美術普及事業 (文化課)</p>	<p>県民の美術への親しみや関心を深めるため、普及活動を積極的に実施する。</p>	<p>②学校・各地域の公民館・図書館等へのアウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」の実施 年間 82 日</p> <p>5 協定に基づく茨城大学との連携 (インターンシップの受け入れ) 館内での美術館アカデミーの開催:年 3 回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p>②学校・各地域の公民館・図書館等へのアウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」の実施 ※日数未定</p> <p>5 協定に基づく茨城大学との連携 (インターンシップの受け入れ) 館内での美術館アカデミーの開催:年 1 回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により一部休止</p>
<p>③天心記念五浦美術館美術普及事業 (文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R1決算:2,140</p> <p>R2 当初:3,647</p>	<p>県民に美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。</p>	<p>1 学校教育連携事業 日本画トランクの貸出:随時 教師向け日本画実技講座:年 1 回 日本画トランク便:年 10 回</p> <p>2 生涯学習関連事業 岡倉天心記念室ガイドツアー:1日3回(※3 月は中止) 岡倉天心記念室における音声ガイド貸し出し(※3 月は中止) ギャラリートーク:年 13 回 ミュージアムシアター:年 12 回(※3 月実施予定の1 回が中止) ミュージアムコンサート:年 3 回 落語会:年 1 回 実技講座:年 2 回</p>	<p>1 学校教育連携事業 日本画トランクの貸出:随時 教師向け日本画実技講座:※中止 日本画トランク便:※中止</p> <p>2 生涯学習関連事業 岡倉天心記念室ガイドツアー:1 日 3 回(※4 月から 6 月は中止) 岡倉天心記念室における音声ガイド貸し出し(※中止) ギャラリートーク:※企画展中止に伴い未実施 ミュージアムシアター:※中止 ミュージアムコンサート:※中止 学芸員体験講座:※中止 ワークショップ:※中止 館 HP を介した教材のダウンロード:随時</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>【前ページの続き】</p> <p>③天心記念五浦美術館美術普及事業 (文化課)</p>	<p>県民に美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。</p>	<p>ワークショップ:年6回(※3月実施予定の1回が中止)</p> <p>3 美術情報提供事業講堂の運営 「岡倉天心の五浦時代」上映:随時 映像ギャラリーの運営 美術情報ライブラリーの運営</p> <p>4 茨城大学との連携 実技講座の開催:年1回 ワークショップ:年1回 講演会:年1回</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p>3 美術情報提供事業講堂の運営 「岡倉天心の五浦時代」上映:※中止 映像ギャラリーの運営:※中止 美術情報ライブラリーの運営</p> <p>4 茨城大学との連携 実技講座の開催:※中止 ワークショップ:年1回 講演会:※中止</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>
<p>④陶芸美術館美術普及事業 (文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R1 決算:5,079</p> <p>R2 当初:5,351</p>	<p>県民に美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。</p>	<p>1 学校教育連携事業 「美術館で学ぼう」事業:7月20日～9月1日 陶芸ボックスの貸出:年8回 笠間市小中学校美術展の開催:11月22日～24日 第6回高校生茶道部交流会の実施:2月2日</p> <p>2 美術講演会・講座等の開催 美術講演会:年1回 ワークショップ:年3回 ギャラリートーク, アーティストトーク:年6回 呈茶会:年3回</p>	<p>1 学校教育連携事業 「美術館で学ぼう」事業:※中止(下記事業へ変更) 「かさま発見!スタンプラリー」事業:8月中 陶芸ボックスの貸出:随時 笠間市小中学校美術展の開催:※中止 第7回高校生茶道部交流会:1月下旬～2月上旬</p> <p>2 美術講演会・講座等の開催 美術講演会:年3回(※1,2回目中止) ワークショップ:年4回(※1,2回目中止)</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
【前ページの続き】 ④陶芸美術館美術普及事業 (文化課)	県民に美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。		ギャラリートーク, アーティストトーク:年6回 呈茶会:年3回(※1,2回目中止) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止のイベントあり。
⑤自然博物館教育普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R1決算:3,006 R2当初:3,037	野外施設を活用した各種教室, 博物館資料を遠隔地の学校等で展示・公開する「移動博物館」など体験型の教育普及事業を実施し, 自然への興味関心を高めるとともに, 博物館活動の理解を深める	<p>1 自然講座等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然講座:9回実施, 延べ1,248人参加 ・シニア向け自然大学:※中止1回, 5回実施, 延べ89人参加 ・学芸員によるサイエンストーク:6回実施, 延べ92人参加 <p>2 自然観察会</p> <ul style="list-style-type: none"> 10回実施, 一般・児童生徒延べ273人参加 <p>3 移動博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の小中学校, 特別支援学校5校(入場者数延べ1,216人)及び社会教育施設延べ4会場(入場者数延べ5,868人)で実施 <p>4 ジュニア学芸員育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・高校生が博物館職員の支援のもと各分野のテーマについて学習し, 研究成果を発表した。 ・新規ジュニア学芸員認定者数:11人 ・ジュニア学芸員登録者数:39人 	<p>1 自然講座等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然講座:今後9回実施予定 ・シニア向け自然大学:※中止1回, 今後5回実施予定 ・学芸員によるサイエンストーク:※中止2回, 今後4回実施予定 <p>2 自然観察会</p> <ul style="list-style-type: none"> ※中止5回, 今後7回実施予定 <p>3 移動博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の小中学校, 特別支援学校11校を予定(特別支援学校1校含む)及び社会教育施設4会場で実施予定 <p>4 ジュニア学芸員育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア学芸員養成講座:10月以降実施予定 ・ジュニア学芸員登録者数:49人 <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>

【再掲】

- ・子ども伝統文化フェスティバル(生活文化課)

(3) 文化に関する教育の充実

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①アートフルステージ 公演開催 (文化課) 決算額等(千円) R1決算:1,177 R2当初:1,216	県立特別支援学校の児童生徒を対象に各種の芸術鑑賞事業を実施し、芸術文化に対する興味関心を引き出すとともに豊かな心の育成を図る。	以下 10 校で実施 ・水戸聾学校:読み聞かせ1回 ・水戸飯富特別支援学校:コンサート1回 ・友部特別支援学校:コンサート1回 ・友部東特別支援学校:ジャグリング1回 ・大子特別支援学校:ジャグリング1回 ・鹿島特別支援学校:ジャグリング1回 ・土浦特別支援学校:コンサート1回 ・伊奈特別支援学校:コンサート1回 ・つくば特別支援学校:コンサート1回 ・境特別支援学校:ジャグリング1回	以下7校で、9月～2月に実施予定。 ・水戸聾学校:演劇 ・水戸特別支援学校:クラシックバレエ ・水戸飯富特別支援学校:コンサート ・友部特別支援学校:コンサート ・友部東特別支援学校:中国雑技 ・つくば特別支援学校:コンサート ・大子特別支援学校:演劇
②高等学校文化活動 推進事業 (文化課) 決算額等(千円) R1決算:3,478 R2 当初:3,891	・第 38 回全国高等学校総合文化祭「いばらき総文 2014」を契機に活性化している本県高等学校文化部への支援を行う。 ・茨城県高等学校文化連盟の部会に外部指導者を派遣するとともに、成果発表会を開催。 ・文化部顧問の指導力向上を図るため、県内外の指導者等による講演会等を実施。 ・日頃の活動の成果を発表する場を提供。 ・高校間の文化交流の促進を図るため、複数の高校の文化部による合同練習等を実施。	1 外部指導者の派遣 8部会へ延べ 49 人を派遣 2 発表の場の提供 県立歴史館いちょうまつりにおいて、発表を行った。 期日:令和元年 11 月 10 日(日), 13 日(水) 場所:茨城県立歴史館 参加部会:2 部会(器楽管弦楽, 郷土芸能) 3 交流事業の実施 5 部会(美術工芸, 囲碁, 器楽管弦楽, 郷土芸能, 自然科学)において、計 7 回交流事業を行った。	1 外部指導者の派遣 7部会へ延べ 39 人を派遣予定 2 発表の場の提供 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 3 交流事業の実施 5 部会(囲碁, 美術工芸, 自然科学, 器楽管弦楽, 郷土芸能)において、計 8 回交流事業を実施予定。

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
③茨城県高等学校総合文化祭開催 (文化課) 決算額等(千円) R1決算:5,776 R2当初:5,777	高校生に美術、音楽及び演劇などの芸術文化活動の機会を提供し創造活動の向上を図る。	1 総合開会式 ・期日:令和元年10月25日 ・場所:ひたちなか市文化会館 ・参加者数:466人 2 美術展 ・期間:令和元年10月22日～11月10日 ・場所:つくば美術館 ・参加者数:117校 3,017人 3 音楽会 ・期日:令和元年10月26日, 11月15日 ・場所:ひたちなか市文化会館 ・参加者数:84校 2,554人 4 演劇祭 ・期間:令和元年11月9日～11月10日 ・場所:小美玉市四季文化館 ・参加者数:11校 650人	1 総合開会式 ※中止 2 美術展 ・期間:令和2年11月3日～11月17日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館ほか 3 音楽会 ※中止 4 演劇祭 期間:令和2年11月21日～11月22日 場所:小美玉市四季文化館 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止
④茨城県小中学校芸術祭開催 (文化課) 決算額等(千円) R1決算:1,792 R2当初:1,792	・小中学生の創造性を高め、豊かな情操を培うため、学校教育との連携を図りながら、美術展及び合唱・合奏大会を開催する。	各種目別に実行委員会を組織し次のとおり実施した。 1 小・中学校美術展覧会 期間:令和元年11月27日～12月1日 出品者数:4,065人 入場者:12,258人	各種目別に実行委員会を組織し次のとおり実施する。 1 小・中学校美術展覧会 期間:令和2年11月25日～11月29日

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
【前ページの続き】 ④茨城県小中学校芸術祭開催 (文化課)	小中学生の創造性を高め、豊かな情操を培うため、学校教育との連携を図りながら、美術展及び合唱・合奏大会を開催する。	2 小学校合唱・合奏大会 期日:令和元年11月28日 出場校:30校 入場者:3,500人 3 中学校合唱・合奏大会 期日:令和元年11月27日 出場校:29校 入場者:3,018人	2 小学校合唱・合奏大会 期日:令和2年11月27日 ※中止 3 中学校合唱・合奏大会 期日:令和2年11月26日 ※中止 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止
⑤いばらきっ子郷土検定事業 (生涯学習課) 決算額等(千円) R1決算:2,113 R2当初:2,231	中学2年生を対象に茨城県独自の郷土検定を行い、子どもたちが楽しみながら本県の伝統や文化を学ぶことにより、子どもたちの郷土への愛着心や誇りに思う気持ちを育む。	1 市町村大会 ・開催期間:令和元年11月 ・参加校数:236校 ・参加者数:22,550人 2 県大会 ・開催日:令和2年2月1日 ・参加者数:1,500人	1 市町村大会 ・開催期間:令和2年11月 ・参加校数:約240校 ・参加者数:約24,000人 2 県大会 ・開催日:令和3年2月6日 ・参加予定者数:約700人
⑥副読本を活用した小中学校での地域の歴史や文化学習 (義務教育課) 決算額等(千円) R1 決算:— R2 当初:—	学習指導要領に基づき、各市町村において、身近な地域の歴史、特色ある伝統や文化等を取り上げた副読本を作成し、社会科の授業等で活用している。	—	—

【再掲】

- ・文化芸術体験出前講座(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・自然博物館美術普及事業(文化課)

4 事業KPI

(1) 県芸術祭の参加者数 (単位:人) ★1

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	34,000	34,000	35,000	35,000
実績値	33,498	33,178	33,924	—	—
達成率(%)	—	97.6	99.8	—	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・I(1)① 茨城県芸術祭

(2) 関連事業の参加者数(単位:人) ★2

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	18,600	18,600	18,600	18,600
実績値	23,639	21,349	20,842	—	—
参考値	22,891	20,536	20,842		
達成率	—	114.8	112.1	—	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・I(1)② 高校生のための公開レッスン
- ・I(1)③ 文化芸術体験出前講座
- ・I(1)⑤ 茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート【H30で終了】
- ・I(2)① 親子を対象としたオーケストラコンサート
- ・II(1)② 海外オペラ
- ・IV(1)⑤ 移動展覧会

※参考値は H30 年度終了事業(茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート)を除いた数値

5 事業の評価

【概ね期待通りの成果】

「県芸術祭の参加者数」の達成率は概ね 100%であり、「高校生のための公開レッスン」「文化芸術体験出前講座」等の関連事業の参加者数についても達成率は 100%を超えた。なお、関連事業の参加者数については、茨城県国際音楽アカデミーin かさまコンサートが平成 30 年度をもって終了したこと、及び文化芸術体験出前講座において2月に実施予定であった講座が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、昨年度より実績が減少した。

6 今後の展開・方向性

コロナ禍における新しい生活様式に合わせつつ、県民が文化芸術を鑑賞・体験できる機会を提供することにより、芸術家等の活動機会の確保と、担い手の育成に努めていく。

文化芸術は人格や感性を育むものであることから、学校や文化団体等との連携を図りながら、子どもの頃から文化に触れる機会を提供し、その後の鑑賞・体験の習慣化に繋げていく。

II 文化の振興

1 施策の方向

茨城の文化を高め、その魅力を国内外に発信し、本県文化のブランド力を確立する。また、新たな文化を創造し、地域の活性化を図る。

2 課題

文化芸術の振興にあたっては、各文化団体の自主性や創造性を尊重しつつ、優れた創作活動に対して効果的な支援を行っていく必要がある。

また、広く県民に認知されていない伝統文化もあることから、それらの掘り起こしを行いながら、発表の場の提供や魅力発信など、支援の充実を図る必要がある。

3 県の取組状況

(1) 芸術の振興

事業名	事業内容	R1 年度実績	R2 年度取組状況
①各文化活動への後援 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:- R2 当初:-	県以外の者が主催して行う催事等で文化振興に寄与するものについて、県が後援していることを広く県民に知らせることによって、催事等に信用を付与するとともに文化意識の高揚を図り、文化の振興を促進する。	後援承認件数:176 件	後援承認件数 42 件(R2 年 10 月末現在)
②海外オペラ ★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:20,236 R2 当初:-	音楽・演劇・美術・舞踊・文学など複数の要素を同時に合わせ持つ総合舞台芸術である本格的で質の高い海外オペラ公演を低廉な価格で提供することで、県民の文化芸術活動の活性化を図る。また、学生専用席を設けて学生の鑑賞機会を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・演目:トリエステ・ヴェルディ歌劇場「椿姫」 ・期日:10月26日 ・会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホール ・出演者:トリエステ・ヴェルディ歌劇場管弦楽団/合唱団 ・入場者数:1,022 人 	(R1 年度をもって事業終了)

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
③陶芸美術館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:4,122 R2 当初:4,221	人間国宝・文化勲章受章者等の作品をはじめ、日本近現代陶芸の全貌を通観できるよう、優れた美術資料の継続的な購入を進める。	次のとおり美術作品を購入した。 ・工芸 ルーシー・リー 緑釉器 ・工芸 石橋裕史 彩刻磁鉢 ・工芸 林恭助 銀兔毫壺 ・工芸 林友加 志野茶壺 ・工芸 伊藤剛俊 菓子皿 ほか7点 ・工芸 島崎小乙里 テーブルウェア(23点) ・工芸 鯨井円美 コーヒーセット(8点) ・工芸 グラハム・マクアリスタ 塩釉醤油差し ほか3点	工芸作品を購入予定。
④近代美術館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R1決算:2,920 R2 当初:4,976	常設展示室において、それぞれ所蔵作品をテーマに応じて展示する。	所蔵作品の中から日本近代美術の秀作を選び、近代美術館で6期展示公開した。 1期 2月14日～4月14日 2期 4月17日～6月16日 3期 6月20日～9月23日 4期 9月28日～10月27日 5期 12月7日～1月26日 6期 1月29日～4月26日	所蔵作品の中から近代美術の秀作を選び、近代美術館で6期展示する。 1期 1月29日～4月26日 2期 4月29日～6月7日 3期 6月20日～9月13日 4期 10月27日～11月23日 5期 1月23日～2月28日 6期 3月3日～4月18日
⑤近代美術館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R1決算:46,859 R2 当初:48,686	企画展示室において、企画展を開催する。	次の企画展を開催した。 1 志村ふくみ展－滋賀県立近代美術館コレクションを中心に－ 会期:平成31年4月6日～令和元年6月2日 入場者数:12,433人	次の企画展を開催する。 1 名画を読み解く－珠玉の東京富士美術館コレクション展 会期:令和2年2月20日～4月12日 入館者数:1,407人(令和2年度分)

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>【前ページの続き】</p> <p>⑤近代美術館企画展 (文化課)</p>	<p>企画展示室において、企画展を開催する。</p>	<p>2 生誕 90 周年記念 手塚治虫展 会期:令和元年6月 15 日～8月 25 日 入館者数:34,820 人</p> <p>3 憧れの欧米への旅ー竹久夢二展 会期:令和元年9月7日～10月 27 日 入館者数:15,408 人</p> <p>4 名画を読み解くー珠玉の東京富士美術館コレクション展 会期:令和2年2月 20 日～4月 12 日 入館者数:8,603 人(令和元年度分)</p>	<p>2 没後 10 周年 平山郁夫 シルクロードコレクション展 会期:令和2年4月 25 日～6月 28 日(当初:4月 25 日～6月 14 日) 入館者数:15,132 人</p> <p>3 名作のつくりかた 会期:令和2年7月 11 日～9月 22 日(当初:7月4日～9月 22 日)</p> <p>4 6つの個展 2020 会期:令和2年 11 月3日～12 月 20 日</p> <p>5 ムーミン コミックス展 会期:令和3年1月 16 日～3月 14 日</p>
<p>⑥陶芸美術館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:4,923 R2 当初:4,524</p>	<p>第1展示室では、「近現代日本陶芸の展開」をテーマに、明治期から現在までの日本陶芸史を概観できるよう、所蔵品を中心に展示しているほか、板谷波山と松井康成については、特集展示コーナーを設け、紹介する。</p> <p>第2展示室では、現在活躍中の陶芸家の作品を中心に様々なテーマを設け、展示紹介する。</p>	<p>○第1展示室</p> <p>1 コレクション展 I 会期:令和元年6月4日～10月 13 日</p> <p>2 コレクション展 II 会期:令和元年 10 月 16 日～令和2年2月2日</p> <p>3 コレクション展 III 会期:令和2年2月4日～5月 10 日</p> <p>○第2展示室</p> <p>1 新収蔵品展(第二会場) 会期:令和元年6月5日～9月1日</p>	<p>○第1展示室</p> <p>1 コレクション展 I 会期:令和2年5月 12 日～10月 25 日</p> <p>2 コレクション展 II 会期:令和2年 10 月 27 日～令和2年2月7日</p> <p>3 コレクション展 III 会期:令和3年2月9日～次年度</p> <p>○第2展示室</p> <p>1 新収蔵品展 会期:令和2年5月 13 日～7月 19 日 ※終了日変更(8月 30 日へ)</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>【前ページの続き】</p> <p>⑥陶芸美術館常設展 (文化課)</p>	<p>第1展示室では、「近現代日本陶芸の展開」をテーマに、明治期から現在までの日本陶芸史を概観できるよう、所蔵品を中心に展示しているほか、板谷波山と松井康成については、特集展示コーナーを設け、紹介する。</p> <p>第2展示室では、現在活躍中の陶芸家の作品を中心に様々なテーマを設け、展示紹介する。</p>	<p>2 いきもの狂騒曲ー陶芸フィギュアの現在ー (第二会場) 会期:令和元年9月7日～11月24日</p> <p>3 久米みどり展 会期:令和2年1月2日～5月10日</p>	<p>2 第20回全国こども陶芸展inかさま 会期:令和2年7月25日～8月30日 ※令和3年度へ延期</p> <p>3 里中英人展 会期:令和2年9月3日～10月11日</p> <p>4 笠間陶芸大賞展(第二会場) 会期:10月17日～1月17日 ※令和3年度へ延期</p> <p>5 笠間と益子の急須展 会期:令和3年1月19日～次年度 ※会期変更:令和2年10月14日～ 令和3年1月17日</p> <p>6 茶陶展 会期:令和3年1月20日～次年度 ※新規に追加 ※印は、新型コロナウイルス感染症の影響により開始時期等変更のあったもの</p>
<p>⑦陶芸美術館企画展 (文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R1 決算:18,052</p> <p>R2 当初:17,823</p>	<p>企画展示室において、企画展等を開催する。</p>	<p>4回の企画展等を開催した。</p> <p>1 第25回日本陶芸展 会期:平成31年4月27日～7月7日 入館者数:6,832人</p> <p>2 大人も子どもも楽しい かわいい陶とカッコいい焼 会期:令和元年7月20日～8月25日 入館者数:3,840人</p>	<p>4回の企画展等を開催する。</p> <p>1 幻の横浜焼・東京焼展 会期:令和2年4月18日～6月28日 ※臨時休館:4月18日～5月11日</p> <p>2 青か、白かー青磁×白磁×青白磁 会期:令和2年7月18日～9月27日 ※終了日変更(～10月18日)</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>【前ページの続き】</p> <p>⑦陶芸美術館企画展 (文化課)</p>	<p>企画展示室において、企画展等を開催する。</p>	<p>3 いきもの狂騒曲ー陶芸フィギュアの現在ー 会期:令和元年9月7日～11月24日 入館者数:15,863人</p> <p>4 ガレの陶芸 会期:令和2年1月2日～3月8日 入館者数:14,411人</p>	<p>3 開館20周年記念事業 笠間陶芸大賞展 会期:令和2年10月17日～令和3年1月17日 ※令和3年度へ延期</p> <p>4 人間国宝 松井康成と原清展 会期:令和3年2月6日～3月21日 ※会期変更:令和2年10月31日～令和3年3月21日 ※印は、新型コロナウイルス感染症の影響により開始時期等変更のあったもの</p>
<p>⑧陶芸美術館20周年記念事業 (文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R1 決算:11,447</p> <p>R2 当初:21,666</p>	<p>令和2年度に開館20周年を迎える陶芸美術館の記念企画展等を開催する。</p>	<p>陶芸美術館開館20周年記念事業事前準備を下記のとおり実施。</p> <p>1 「応募要項」の作成・発送, 新聞・雑誌等でのPR ①作成部数・ポスター:1,500枚・要項:20,000部 ②広報:美術関係新聞「新美術新聞」他, 産経新聞, 県・市の広報誌, 各種タウン誌等</p> <p>2 収蔵作品の修復 里中英人作品の修復:7点</p> <p>3 収蔵作品のデータベース化の実施 一部作品の撮影とHP上での公開</p>	<p>陶芸美術館開館20周年記念事業を下記のとおり開催する。</p> <p>1 記念展「笠間陶芸大賞展」(公募展) 会期:令和2年10月17日～令和3年1月17日 ※令和3年度へ延期</p> <p>2 テーマ展「里中英人展」 会期:令和2年9月3日～10月11日</p> <p>3 共催事業「第20回全国こども陶芸展inかさま」 会期:令和2年7月25日～8月30日 ※令和3年度へ延期</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により, 上記1及び3については, 令和3年度へ延期。</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
⑨フィルムコミッション推進事業 (観光物産課) 決算額等(千円) R1 決算: 8,133 R2 当初:13,755	・ロケ誘致 ・ロケ支援 ・ロケツアーリズムの推進	1 県内撮影支援作品数:606 作品※H30 実績 2 県内撮影日数:1,318 日※H30 実績 3 ロケ地マップ Vol.13 の発行 4 ロケ地バスツアーの実施 映画「アルキメデスの大戦」ロケ地ツアー(水戸・笠間)38 名 大洗・ひたちなかコース 24 名 5 映画アルキメデスの大戦 原画&小道具開催	1 ロケ地マップ Vol.14 の発行 2 ロケ地バスツアーの実施 春:新型コロナにより休止 秋:台風により中止 3 映像関係事業者と連携した本県 PR 企画の実施 本県で撮影した映画の公開に合わせ対象の市町村と 共同でロケ地の展示・活用を実施
⑩茨城県魅力映画支援事業(観光物産課) 決算額等(千円) R1 決算:10,940 R2 当初:32,756	・本県を舞台題材にした作品の誘致	海外作品を対象にした誘致活動 (1) 海外作品のロケ誘致活動 シルクロード映画祭, 東京国際映画祭 参加 (2) 海外の映像製作関係者を対象にしたロケーション ツアー 2 回実施(対象国 中国)	海外作品を対象にした誘致活動 (1)海外営業交渉(映像作品のロケ誘致活動) 香港映画祭, 東京国際映画祭 参加予定 (2)海外の映像製作関係者(監督, プロデューサー, 脚本家 等)対象にしたロケーションツアー (3)本県を舞台題材にした海外映像作品の製作費支援

【再掲】

・茨城県芸術祭(生活文化課)

(2) 伝統文化の継承及び発展

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①伝統文化総合支援事業★3 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:11,990 R2 当初: 8,960	県内各地で行われている伝統的な行事や 民俗芸能などの伝統文化について, その継 承等に取り組む伝統文化団体への発表機 会の提供や情報発信の支援等を行う。	1 発表機会の提供 提供団体数:7団体 2 情報発信支援 発信数:10 件	1 発表機会の提供 2 情報発信支援

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
② 東関東の盆綱総合調査事業(民俗文化財活性化促進事業)(文化課) 決算額等(千円) R1 決算: 618 R2 当初:2,000	茨城・千葉両県のほか九州北部など、広域にわたって分布する盆行事の一つである「盆綱」の特色や歴史的価値を明らかにし、記録を残すことにより、今後の保存と伝承を図るための基礎的な資料とする。 また、本県の民俗習慣の特性に関する理解と啓発に役立てる。 調査期間は平成31年度(2019年度)から令和3年度(2021年度)まで。	1 調査委員会の設立及び開催 ・3回/年(4月, 6月, 10月) ・調査項目の決定 ・調査対象の選定 2 現地調査の実施(8月13日～16日) ・聞き取り ・記録保存 3 調査報告書の作成 ・原稿作成	1 調査委員会の設立及び開催 ・4回/年(6月, 7月, 10月, 2月) ・調査項目の決定 ・調査対象の選定 2 現地調査の実施(8月13日～16日) ・聞き取り ・記録保存 3 調査報告書の作成 ・原稿作成

【再掲】

- ・郷土民俗芸能の集い(民俗文化財活性化促進事業)(文化課)
- ・子ども伝統文化フェスティバル(生活文化課)

(3) 生活文化等の振興

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
① 茨城をたべよう運動推進事業 ★4 (販売流通課) 決算額等(千円) R1 決算:3,500 R2 当初:3,500	本県農林水産物の消費拡大を図るため「茨城をたべよう運動推進協議会」を中心に、県民一丸となって県産農林水産物を食べて応援する地産地消活動「茨城をたべよう運動」を推進する	1 県内全小学5年生(約25,000人)に対し、産出額全国1位～3位の農産物を紹介したクリアファイルの配布 2 協議会会員等が実施する県産農林水産物等を活用したPRイベント、農業体験、料理教室への一部支援(R1支援実績:31件) 3 「茨城をたべよう学校給食支援事業(生産者と生徒の交流事業)」による地場産物を活用した特別メニュー提供等の経費の一部支援	1 県内全小学5年生(約25,000人)に対し、産出額全国1位～3位の農産物を紹介したクリアファイルの配布 2 協議会会員等が実施する県産農林水産物等を活用したPRイベント、農業体験、料理教室への一部支援 3 「茨城をたべよう学校給食支援事業(生産者と生徒の交流事業)」による地場産物を活用した特別メニュー提供等の経費の一部支援

事業名	事業内容	H30年度実績	R1年度取組状況
前ページの続き ①茨城をたべよう運動 推進事業 ★4		(R1支援実績:6件) 4 「地産地消情報ネットワークシステム」を運営し、地産地消関連イベント情報等を会員相互で共有 5 協議会会員と連携した各種イベント等での「茨城をたべよう運動」のPR(フラッグ、のぼり等の掲出、パンフレットの配布等)	4 「地産地消情報ネットワークシステム」を運営し、地産地消関連イベント情報等を会員相互で共有 5 協議会会員と連携した各種イベント等での「茨城をたべよう運動」のPR(フラッグ、のぼり等の掲出、パンフレットの配布等) 6 新型コロナウイルス感染症対策の観点から実施する、県産品を活用した取組に対する支援

【再掲】

・食生活改善地区組織育成・強化推進事業(活動支援・リーダー育成) (健康地域ケア推進課)

(4) 文化を活用した地域づくり

事業名	事業内容	H30年度実績	R1年度取組状況
①アーカスプロジェクト 推進事業★5 (地域振興課) 決算額等(千円) R1決算:8,542 R2当初:8,542	海外からアーティストを招き、滞在中の制作活動を支援する「アーティスト・イン・レジデンスプログラム」や、県民が身近に芸術を体験できる「地域プログラム」などを通じ、芸術を活かした創造性豊かな地域づくりと本県のイメージアップを図る。	1 公募によるアーティスト・イン・レジデンス 招聘アーティスト:3組 2 海外のアート団体との連携によるアーティスト・イン・レジデンス 派遣アーティスト:日本1人 招聘キュレーター:英国1人 3 連携促進プログラム 勉強会等:3回、延べ参加者数:93人 4 地域プログラム ワークショップ等:9回 延べ参加者数:183人	1 アーティスト・イン・レジデンスプログラム (1) 公募によるレジデンスプログラム 招聘アーティスト:3組 招聘期間:10月下旬~1月下旬 (2) 海外のアート団体等との連携プログラム ①日本人・海外アーティスト:各1人 ②活動期間:約30日間 (3) 他団体・自治体等との連携促進プログラム 袋田病院(大子町)等 2 地域プログラム ワークショップやアートカレッジの開催

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
② 県北芸術村推進事業 (県北振興局) ★6 決算額等(千円) R1 決算:31,709 R2当初:35,000	地域づくりの担い手育成を進め、アートを活用した地域主体のまちづくりを促進するとともに、新たなアプローチによる交流人口創出のためのモデル事業に取り組み、地元中心の継続的な地域振興につなげる。	1 アートを活用した地域主体のまちづくりの促進 (1) 若手芸術家(地域おこし協力隊)による活動 ・採用状況:2名(最長令和3年9月30日まで) ・Meets KENPOKU アートミーティング アートを活用した地域おこし団体等のネットワーク化・組織化 【回数:2回, 参加人数:87人】 ・自主企画「メゾンケンポクの何かはある」 ワークショップの開催, アート作品の制作展示 【期間:令和2年1月17(金)~3月8日(日) 来場者数:4,242名】 (2) 芸術家の短期滞在による交流型アートプロジェクトの実施 ・招へい数:3組(飯川雄大, 三田村光土里, 渡邊拓也(アークス参加アーティスト)) ・主な内容:住民参加型ワークショップの開催, 小中学校でのワークショップの開催, アート作品の制作・展示 など 【来場者数:延べ524名】	1 アートを活用した地域主体のまちづくりの促進 (1) 若手芸術家(地域おこし協力隊)による活動 ・採用状況:2名(最長令和3年9月30日まで) ・活動内容:アートを活用した地域おこし団体等のネットワーク化・組織化, ワークショップの開催, アート作品の制作・展示 など (2) 芸術家の短期滞在による交流型アートプロジェクトの実施 ・招へい数:3組(うち, 1組はアークス参加アーティスト(日本人)) ・主な内容:住民参加型ワークショップの開催, アート作品の制作・展示 など

(5) 文化交流の推進

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①全国高等学校総合文化祭への活動支援 (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:3,000 R2 当初:3,000	高等学校相互の交流を図るとともに、高等学校における合唱や美術工芸等の部活動の振興に資するため、全国高等学校総合文化祭に県代表校を派遣する。	次のとおり県代表校を派遣した。 ・開催期間:令和元年7月27日～8月1日 ・開催地:佐賀県 ・派遣部門:総合開会式など20部門 ・派遣校数:延べ72校	第44回全国高等学校総合文化祭がWEB開催されることに伴い、県代表校の派遣は行わない。 ・開催期間:令和2年7月31日～10月31日 ・開催地:高知県
②国文祭への参加支援 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:- R2 当初:-	国文祭開催県から出演者(団体)募集があった際、県内市町村及び文化団体に情報提供するとともに出演者(団体)の推薦を行う。	にいがた2019派遣団体(5団体) 取手市文化連盟 水野箏曲会、茨城県かるた協会、瓜連おはやし保存会、(一社)日本健康麻将協会 茨城支部、日本麻雀連盟	みやざき2020派遣団体(3団体) 茨城県かるた協会、(一社)日本健康麻将協会茨城支部、日本麻雀道連名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年へ開催延期
③語学指導等を行う外国青年招致事業 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R1 決算:15,705 R2 当初:18,030	外国から青年を招致し、学校や自治体に配置することで、外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルの国際交流を推進する。	外国青年配置数:75名 【内訳】 茨城県:44人(CIR4人,ALT40人) 市町村:26人(CIR3人,ALT22人,SEA1人) 私立学校:5人(ALT5人)	外国青年配置予定数:84人 【内訳】 茨城県:57人(CIR4人,ALT53人) 市町村:21人(CIR3人,ALT18人) 私立学校:6人(ALT6人)
④国際交流協会運営費補助 ★7 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R1 決算:46,060 R2 当初:48,012	(公財)茨城県国際交流協会の運営に要する経費の一部補助を行う。	1 多言語による情報提供(10言語) 多言語サイトアクセス数:27,582件 2 外国人相談事業(31言語(翻訳機器等の対応言語を含む。)) 相談件数:1,582件	協会が円滑な事業の実施と運営を行い民間における国際交流推進の中核組織としての機能を果たせるよう、引続き運営費等を補助する。

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
前ページの続き ④国際交流協会運営費 補助 ★7		3 多文化共生サポーターバンクの運営 登録人数:延べ1,070人 4 国際理解の推進 ワールドキャラバン講師派遣回数 63回 5 外国人対応・相談担当者研修会 開催日:令和元年12月3日 参加者:市町村, 市町村国際交流協会, 外国人支援アドバイザー57人	
⑤在南米県人子弟茨城 研修員事業費 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R1 決算:3,804 R2 当初:5,420	日本語・日本文化の継承, 日伯亜の交流 推進を図るため, 本県からブラジル及びア ルゼンチンに移住した者の子弟(各1名) を本県に約6ヶ月間受け入れ, 日本語研 修及び県内企業・研究機関等での専門研 修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修期間:令和元年9月9日～令和2年3月6日 ・日本語研修:京進ランゲージアカデミー水戸校 ・専門研修:(ブラジル)産業技術総合研究所 (アルゼンチン)美容専門学校等 	※新型コロナウイルス感染症の影響により, 中止。
⑥南米交流推進青年派 遣事業費 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R1 決算:2,641 R2 当初:2,963	県民と在南米茨城県人会との交流活性化 及びネットワークの強化, 国際社会で活躍 できる将来のグローバルリーダーの育成を 図るため, 県内在住者の青年2名を, 事前 語学研修の後にブラジルまたはアルゼン チンに15日間派遣する。	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣期間:令和2年2月25日～3月10日 ・派遣対象国:アルゼンチン ・派遣内容:語学研修, 県人会会員宅へのホームステイ, 県人会との交流, 日系移民の歴史学習, 企業等の訪問等 	※新型コロナウイルス感染症の影響により, 中止。

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
⑦上海事務所事業費 (グローバルビジネス支援チーム) 決算額等(千円) R1 決算:26,522 R2 当初:31,893	伝統工芸品を含む本県産品の輸出や観光インバウンド、さらには地域振興に資する実のある交流の促進に資するため、各種イベント等あらゆる機会を積極的に捉え、本県の地域資源を広く売り込む。	県内団体等が行う交流事業について、視察先の紹介や調整等の支援を行ったほか、各種イベント等において、伝統工芸品を含む本県産品や観光資源の売り込みを行った。 ・中国国際輸入博覧会において本県産品をPR (令和元年11月5日～10日/上海市) ・「日本国茨城県の観光と物産展」を開催し、笠間焼や県内観光地をPR (令和元年12月10日～30日/上海市) 等	新型コロナウイルス感染症の影響により国際的な人の動きが制限される中、各種展示会等が中止や延期となっているが、可能な限り機会を捉え、本県の地域資源の売り込みに取り組んでいく。 ・中国国際輸入博覧会において本県産品をPR (令和2年11月5日～10日/上海市) ・「日本国茨城県の観光と物産展」を開催し、笠間焼や県内観光地をPR(令和2年12月頃/上海市) 等

【再掲】

- ・アーカスプロジェクト推進事業(地域振興課)

4 事業KPI

(1)関連事業の参加者数(単位:人) ★2

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	18,600	18,600	18,600	18,600
実績値	23,639	21,349	20,842	-	-
参考値	22,891	20,536	20,842	-	-
達成率	-	114.8	112.1	-	-

※参考値はH30年度終了事業(茨城国際音楽アカデミーinかさまコンサート)を除いた数値

【事業 KPI を構成する関連事業】
・I (1)② 高校生のための公開レッスン
・I (1)③ 文化芸術体験出前講座
・I (1)⑤ 茨城国際音楽アカデミーinかさまコンサート【H30で終了】
・I (2)① 親子を対象としたオーケストラコンサート
・II (1)② 海外オペラ
・IV (1)⑤ 移動展覧会

(2) 伝統文化団体への発表機会提供（単位：団体）★3

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	7	15	22	30
実績値	0	8	7	—	—
達成率(%)	—	114.3	46.7	—	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ I (1)⑧ 子ども伝統文化フェスティバル

(3) 茨城をたべよう運動の認知度（単位：%）★4

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	40	40	40	40	40
実績値	36.4	32.3	35.1	—	—
達成率(%)	91.0	80.8	87.6	—	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ II (3)①茨城をたべよう運動推進事業

(4) 再来日または日本での展示に参加したアーティストの数（単位：人）★5

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	53	54	55	56
実績値	52	58	60	—	—
達成率(%)	—	109.4	111.1	—	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ II (4) ①アーカスプロジェクト推進事業

(5) 交流型アートプロジェクト参加者数(地域の担い手となり得る人材)（単位：人）★6

	2017(基準)	2018	2019	2020(目標)
目標値	—	100	150	200
実績値	—	100	171	—
達成率(%)	—	100	114.0	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ II (4) ②県北芸術村推進事業

(6)多文化共生サポーター新規登録者数(2014年以降の累計値) (単位:人) ★7

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	400	500	600	700	800
実績値	520	668	843	-	-
達成率(%)	130.0	133.6	140.5	-	-

【事業 KPI を構成する関連事業】

・ II (5) ④国際交流協会運営費補助

4 事業の評価

【概ね期待通りの成果】

KPI6項目中、1項目が50%未満であったが、5項目は80%以上(6項目平均97%)であるため、「概ね期待通りの成果」であったと評価。

「再来日または日本での展示に参加したアーティストの数」、「交流型アートプロジェクト参加者数」、「多文化共生サポーター新規登録者数」については達成率が100%、「茨城を食べよう運動の認知度」は85%となった。一方、伝統文化団体への発表機会提供については、2月に東京で開催の催事に複数団体を派遣予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で派遣とりやめたため、46.7%となった。

5 今後の展開・方向性

文化施設及び文化施設以外での集客力のある施設において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、文化芸術や伝統文化を発表する機会の確保を図ることにより、担い手のやる気向上や県民が文化芸術に触れる機会の確保に繋げていく。また、文化団体や市町村等、さらには県外の自治体との連携を図りながら、伝統文化の掘り起こしに取り組みつつ、伝統文化の一層の発信力向上を図っていく。

Ⅲ 文化的資産の活用

1 施策方向

地域の文化的資産を観光・産業振興や地域振興等に積極的に活用する。また、文化財の適切な保護・継承を図る。

2 課題

我が県の長い歴史の中で形成、伝承されてきた数多くの伝統的な文化財の適切な保存を進めていくことはもとより、これらの文化財を公開するなどして、文化財の活用を図っていくことが求められている。

また、良好な県土の景観を保全し、創造していくためには、公共の建築物等の建築に当たり、周囲の自然景観や地域の歴史的及び文化的な特性に配慮する必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化的資産の活用

【再掲】

・フィルムコミッション推進事業(観光物産課)

(2) 文化財の保存等

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①文化財等整備費補助事業 (文化課) 決算額等(千円) R1決算:32,241 R2当初:42,803	国・県指定文化財の管理, 修理, 防災, 保存及び公開等に対して補助を行う。 また, 県所有文化財(美術工芸品)の保存修理を行う。	県指定文化財である筑波山神社神橋ほか5件の所有者に対して補助金を交付し, 文化財の保護, 整備及び調査を実施した。 また, 本県が所有する国指定重要文化財である三昧塚古墳出土品の保存修理を実施した。	国指定重要文化財である善光寺楼門及び県指定文化財である長勝寺本堂ほか5件の所有者に対して補助金を交付し, 文化財の保護, 整備及び調査を実施する。 また, 本県が所有する国指定重要文化財である三昧塚古墳出土品の保存修理を実施する。

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
②文化財等災害復旧補助事業 (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:3,372 R2 当初:-	東日本大震災により甚大な被害を受けた指定文化財等の所有者に対し、修理費等の助成を行う。	重要伝統的建造物群保存地区である桜川市真壁地区の村井家土蔵ほか4件の所有者に対して補助金を交付し、東日本大震災の被災文化財の復旧を実施した。	(R1年度をもって事業終了)
③埋蔵文化財調査 (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:21,305 R2 当初:23,246	埋蔵文化財の保存・管理、出土品を活用した展示・公開、体験学習を行うことにより、埋蔵文化財の保護と普及啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数:3,449 名 ・わくわく体験教室参加者数:182 名(年8回実施) ・出前授業:9 校 	体験教室や出前授業等の事業を周知するためパンフレット以外に配布資料を作成し、広域に広報活動を実施する予定。特に教員の研修会で事業を説明するなど学校教育との連携を強化することにより、来館者数や活用校の増加を図る。

【再掲】

- ・東関東の盆綱総合調査事業(民俗文化財活性化促進事業)(文化課)

(3) 公共の建築物の建築に当たっての配慮

事業名	事業内容	R1 年度実績	R2 年度取組状況
①景観形成条例施行事務 (都市計画課) 決算額等(千円) R1 決算:1,454 R2 当初:2,518	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模行為届出に係る審査事務 市町村、建築指導課、県民センター建築指導課及び特定行政庁と連絡調整を行い、円滑な運用を図る。 ○条例等の運用 公共事業等景観形成指針を運用し、地域の歴史的・文化的特性に配慮した公共の建築物の建築・改修を促す。 	大規模行為届出受理件数 124 件	大規模行為届出受理件数 (年度末に集計)

4 事業KPI

設定なし

5 事業の評価

事業KPIを設定していないため数値による評価はできないが、国や県指定文化財等を保存・保護していくために必要な補助金の交付や、埋蔵文化財の保護と普及啓発に着実に取り組んでいる。

6 今後の展開・方向性

引き続き、文化財の保存や活用を進めていくことはもとより、文化的資産の再発見・再認識を通して、地域の魅力を引き出し、市町村をはじめ地元の関係機関とも連携しながら、観光振興や地域振興に活かしていく。

IV 文化活動の充実

1 施策の方向

多くの人々が身近な場所で、様々な文化に触れ親しみ、鑑賞し、参加し、創造することができる環境づくりを図る。

2 課題

青少年や子育て中の保護者、高齢者や障害者、外国人など、より多くの県民が文化についての関心を高め、幅広く文化活動に触れられる機会を提供する必要がある。

3 県の取組状況

(1) 県民の文化活動の充実

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①茨城県文化振興条例及び計画の周知 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:— R2当初:—	県民がより一層文化についての関心を高め、理解を深めることができるよう文化に対する意識の醸成を図る。	1 茨城県文化振興条例及び計画の進行管理に係る審議会の情報等:県ホームページ掲載等により、周知を図った。 2 文化振興事業等:ホームページ「いばらき文化情報ネット」への掲載等により周知を図った。	引き続き、県ホームページ等において、茨城県文化振興条例及び計画に基づく文化振興事業等の情報発信及び周知を図っていく。
②いばらき文化振興財団運営費補助 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:52,737 R2 当初:52,691	県民の文化振興の担い手として大きな役割を果たしている文化振興財団の育成を図る。	文化振興財団の運営に要する経費を補助。 ・R1 年度実績額:52,737 千円	文化振興財団が県の文化行政の一翼を担う役割を果たしていることから、引き続き、運営に要する経費を補助していく。

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
③つくば美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:471 R2 当初:495	県民の美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。	1 講演会, 実技講座, CGコーナー等の普及活動 延べ利用者:3,476 人 2 美術講演・講座等の開催 ・土曜講座(美術講座):年9回 ・美術講演会:年1回 ・ワークショップ:年3回	1 講演会, 実技講座, CGコーナー等の普及活動 延べ利用者:1,831 人(R2.10 月末現在) 2 美術講演・講座等の開催 ・土曜講座(美術講座):年8回 ・美術講演会:年1回 ・ワークショップ:年2回
④現代茨城作家美術展★8 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:5,000 R2 当初:-	県民の文化活動の充実を図るため、本県を代表する作家の優れた美術作品を展示することにより、多くの県民に文化芸術を鑑賞する機会を提供する。(隔年開催)	期間:1月18日～2月9日 場所:県近代美術館 開催部門:日本画, 洋画, 彫刻, 工芸美術, 書, 写真, デザイン(7部門, 100点) 入場者数:8,276人	(隔年開催のため実施せず)
⑤移動展覧会★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:6,710 R2 当初:6,753	本県の芸術家の作品発表の機会や、県内各地で広く県民が美術を鑑賞できる機会を提供するため、茨城県美術展覧会に属する作家の作品などを展示する移動展覧会を開催する。	1 天心記念五浦美術館 期間:6月20日～6月30日 11日間 入場者数:2,240人 2 つくば美術館 期間:6月25日～7月7日 13日間 入場者数:1,695人 3 陶芸美術館 期間:2月24日～3月8日 13日間 入場者数:1,401人	1 陶芸美術館 期間:6月13日～6月28日 14日間 入場者数:1,414人 2 つくば美術館 期間:7月7日～7月19日 12日間 入場者数:986人 3 しもだて美術館 期間:12月5日～12月20日 14日間 入場者数:-

【再掲】

- ・茨城県芸術祭(生活文化課)
- ・海外オペラ(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・天心記念五浦美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館美術普及事業(文化課)

(2) 高齢者・障害者等の文化活動の充実

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>①高齢者自身の取組み支援事業 (長寿福祉推進課) 決算額等(千円) R1決算:13,753 R2当初:14,980</p>	<p>高齢者の生きがい・健康づくり推進のため、高齢者のスポーツ・健康づくり・地域活動等を推進するため茨城県健康福祉祭の開催やニュースポーツの推進を行う。</p>	<p>1 茨城県健康福祉祭の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いばらきねりんスポーツ大会 参加者:約 1300 人 ・いばらきねりんスポーツ(交流)大会 開催団体:14 団体(卓球, テニスなど) ・わくわく美術展開催 ※新型コロナウイルスの影響により開催中止 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国健康福祉祭(ねりんピック紀の国わかやま2019) 選手等派遣者数:156 人 ・ニュースポーツの推進 ニュースポーツ推進員養成数:41 名 ニュースポーツ体験教室参加数:300 名 	<p>引き続き、高齢者の生きがい・健康づくりの推進のため、いばらきねりんスポーツ(交流)大会やニュースポーツ推進員養成講習会等を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業が延期・中止。ただし、ニュースポーツの推進においては、推進員養成講習会の代替として、推進員のスキルアップ講習会を開催予定。</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
②元気シニア地域貢献事業 (長寿福祉推進課)★9 決算額等(千円) R1 決算:4,507 R2 当初:4,799	高齢者が培ってきた豊富な知識・経験・技術・ノウハウを地域社会に還元するための人材バンク(元気シニアバンク)を創設し、登録のある高齢者が広く活躍できる場となっている。	1 元気シニアバンク登録累計件数 241 件(個人:106 名, 団体:135 名) 2 バンク利用状況 ・紹介申込件数:329 件 ・活動件数:254 件	引き続き、人材バンクの登録にふさわしい高齢者に、積極的に登録を呼びかけ、多種多様な人材が地域社会で活躍できるよう支援していく。
③障害者週間推進事業 (障害福祉課) 決算額等(千円) R1 決算:1,598 R2 当初:1,808	障害者による音楽・ダンス・演劇等の発表や美術作品の展示等の文化活動を通じ、障害者と地域社会の交流を深め、障害者の社会参加促進を図る。	ナイスハートふれあいフェスティバル 2019 ・期日:12月5日～12月9日 ・主な参加者・展示数 発表会:8団体(173名) 美術展:作品数436点(制作者613名)	ナイスハートふれあいフェスティバル 2020 ・期日:12月3日～12月7日 ※新型コロナウイルス感染症の影響により発表会を中止し、美術展のみ実施予定
④ナイスハートふれあいフェスティバル(学校教育の部) (特別支援教育課) 決算額等(千円) R1 決算:1,174 R2 当初:1,492	特別支援学校、小・中学校の特別支援学級や通級指導教室に通う幼児児童生徒の作品展示や学習発表を通して、障害のある幼児児童生徒の社会参加への意欲を高めるとともに、県民の特別支援教育に対する理解・啓発を図る	1 学習発表会 ・期日 12月6日 ・出演者数:14団体 640名 ・見学者数:2,201名 2 美術展 ・期日:12月6日～12月9日 ・作品数:4,380点 ・見学者数:4,454名	1 美術展 ・期日:12月4日～12月7日 ・作品数:4,000点(見込み) ・見学者数:4,000名(見込み) ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、学習発表会を中止。

【再掲】

- ・親子を対象としたオーケストラコンサート(生活文化課)

(3) 青少年の文化活動の充実

【再掲】

- ・茨城県小中学校芸術祭開催(文化課)
- ・高等学校文化活動推進事業(文化課)

4 事業KPI

(1) 現代茨城作家美術展の入場者数(単位:人) ★8

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	—	8,500	—	8,800
実績値	8,286	—	8,276	—	—
達成率(%)	—	—	97.4	—	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・IV④(1) 現代茨城作家美術展

(2) 関連事業の参加者数(単位:人) ★2

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	18,600	18,600	18,600	18,600
実績値	23,639	21,349	20,842	—	—
参考値	22,891	20,536	20,842	—	—
達成率	—	114.8	112.1	—	—

※参考値は H30 年度終了事業(茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート)を除いた数値

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・I (1)② 高校生のための公開レッスン
- ・I (1)③ 文化芸術体験出前講座
- ・I (1)⑤ 茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート【H30 で終了】
- ・I (2)① 親子を対象としたオーケストラコンサート
- ・II (1)② 海外オペラ
- ・IV(1)⑤ 移動展覧会

(3) 元気シニアバンク登録件数 (単位:件) ★9

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	213	229	250	—
実績値	213	212	241	—	—
達成率(%)	—	99.5	105.2	—	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・IV(2)② 元気シニア地域貢献事業

5 事業の評価

【概ね期待通りの成果】

「現代茨城作家美術展の入場者数」はほぼ100%、移動展覧会などの「関連事業の参加者数」及び「元気シニアバンク登録件数」の達成率は100%を超えている。

6 今後の展開・方向性

文化施設や学校、芸術系教育機関などと連携しながら、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りつつ、特に、これからの文化芸術の担い手である青少年が様々な文化に触れ親しむ機会を提供していく。

また、高齢者団体や障害者団体、国際交流団体など、多様な主体を所管する関連団体などと連携しながら、県民一人ひとりが幅広く文化芸術活動を身近に感じ、触れ、親しむ機会を提供していく。

V 文化活動の支援体制の充実等

1 施策の方向

多様な主体と連携し、文化振興施策の総合的な推進を図る。また、文化情報の効果的な発信や文化施設の機能の充実、地域の文化活動の支援等を図る。

2 課題

県から発信する情報がより多くの県民等に届くよう発信方法を工夫する必要がある。

文化施設については、適切な維持・保全を基本とし、老朽化対策を進めながら、文化情報発信の拠点としての機能を高めていく必要がある。

また、文化や芸術の専門家や市町村の意見を踏まえながら、文化団体等への適切な支援を行っていく必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化情報の収集及び提供

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①県政情報紙発行費(「ひばり」)★10 (営業企画課) 決算額等(千円) R1 決算:145,872 R2 当初:153,275	県政に対する理解を深め、協力していただけるよう、県政の重要課題に対する県の考え方や施策に関する情報、県民の利便性を高める生活・地域情報等を掲載した県広報紙「ひばり」を作成、配布する。	年 12 回, A4判全頁カラー印刷,980,000 部/回	年 12 回, A4判全頁カラー印刷,960,000 部/回
②ラジオ広報(県だより等) (営業企画課)★10 決算額等(千円) R1 決算:28,605 R2 当初:30,991	茨城県全域をほぼカバーする民放ラジオ局茨城放送を媒体とし、県民の県政に対する理解を深めるため、県政の諸施策や催事案内について繰り返し情報提供する。	「教えて！県政」(10 分間), 10 回放送(R1 で終了) 「県政レポート」(10 分間), 10 回放送 「ラジオ県だより」5 分, 771 回 「県政スポット」20 秒間, 1,028 回放送	「県政レポート」(10 分間), 5 テーマ 10 回放送 ※県内コミュニティ FM 局 7 局においても放送 「ラジオ県だより」5 分, 771 回 「スポット放送」20 秒間, 924 回放送

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
③政策広報(新聞広報等) (営業企画課, プロモーション チーム)★10 決算額等(千円) R1 決算:68,845 R2 当初:53,831	緊急または広く県民に周知を必要とする事 項について, 新聞に掲載を行うとともに, 県 内のケーブルテレビやコミュニティFM局を 活用して, 県民に身近な事業・施策等を紹 介する番組を制作・放送する。	・中央紙6紙及び茨城新聞で, 茨城県からのお知らせ を掲載(9回・18テーマ) ・県内ケーブルテレビ6局において, 番組を制作・放送 (20テーマ, 土・日) ・県内コミュニティFM局7局において番組を制作・放 送(正味10分間, 週1回(R2からラジオ広報に移行))	・中央紙6紙及び茨城新聞で, 茨城県からのお 知らせを掲載(9回・18テーマ) ・県内ケーブルテレビ6局において, 番組を制 作・放送(10テーマ, 土・日)
④県政キャンペーン広報 (営業企画課)★10 決算額等(千円) R1 決算:2,253 R2 当初:2,288	県政の重要広報事項について, 広く県民に 周知するため, 地域に密着した地方紙の紙 面を利用して, テーマ別のキャンペーンを 新聞に掲載する。	茨城新聞 52段掲載	茨城新聞 52段掲載
⑤インターネット情報発信事業 (営業企画課)★10 決算額等(千円) R1 決算:3,912 R2 当初:5,989	県民生活に必要な県政情報, 各種事業・施 策などの情報について, 県ホームページや SNSで速やかに情報発信を行う。	発信内容:県政ホットニュース, イベント, 募集・採用情 報, 其他のお知らせ, 報道発表事項などを掲載	発信内容:県政ホットニュース, イベント, 募集・採 用情報, 其他のお知らせ, 報道発表事項 など を掲載
⑥いばらきインターネットテレビ 事業(いばキラTV)★10 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R1 決算: 64,982 R2 当初:122,602	若年層を主なターゲットとして, 本県の魅力 などの情報を紹介する動画を制作し, イン ターネット上で国内外に広く発信する。	オンデマンド番組制作:415本 年間視聴回数:30,244,745回	オンデマンド動画の制作(412本/年)

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
⑦メディア訪問強化事業★11 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R1 決算:4,555 R2 当初:5,736	首都圏メディアアタック推進事業 本県への観光誘客、県産品の販売促進を図るため、テレビや新聞等のメディアに対して効率的・効果的なパブリシティ活動を実施。	首都圏メディアアタック推進事業 報道件数 19 件 うちTV13 件	首都圏メディアアタック推進事業 県職員自らがテレビや新聞等の首都圏メディアへの効率的・効果的なパブリシティ活動を行う。
⑧メディア活用魅力発信強化事業★11 (営業企画課・プロモーションチーム) 決算額等(千円) R1 決算:234,375 R2 当初: 52,623	首都圏の消費者等への本県の認知度を向上させるため、テレビ等により茨城の観光地や特産品などの情報を提供する。	1 首都圏ネットのテレビ局を活用したPR ・テレビ朝日毎週金曜日「じゅん散歩」内で「カミナリのたくみにまなぶ」放送(2分) ・ダイジェスト版CM(30秒CM)毎週4本 2 インターネットメディアを活用したPR ・フジテレビや動画配信サービス(FOD)を用いて、CM放送やメディアPRなどを実施 3 関東ローカル局等を活用したPR 関東ローカル局等を活用し、茨城の観光地や特産品の紹介 4 メディアタイアップ 茨城空港就航先である神戸・札幌エリア所在メディアを中心としたタイアップ事業の実施 ・タイアップ件数 13 件 うちTV3 件	1 首都圏ネットのテレビ局を活用したPR ・テレビ朝日毎週金曜日「じゅん散歩」内で「カミナリのたくみにまなぶ」放送(2分) ・ダイジェスト版CM(30秒CM)毎週4本 2 インターネットメディアを活用したPR ・インターネットメディア・AbemaTV等を用いて、スポットCMや特別番組などの放送 3 関東ローカル局等を活用したPR 関東ローカル局等を活用し、茨城の観光地や特産品の紹介 4 メディアタイアップ 茨城空港就航先である神戸・札幌エリア所在メディアを中心としたタイアップ事業の実施

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
⑨パブリシティ活動強化事業 (国内)★11 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R1 決算:53,478 R2 当初:44,976	パブリシティ活動強化事業 ノウハウと実績のある広告代理店を活用し、各種メディアの番組制作やテーマ設定に関わるメディア関係者との関係を構築するとともに、ニュースリリース等を行い、各種メディアへの効率的・効果的なパブリシティ活動を展開する。	パブリシティ活動強化事業 広告代理店に委託し、パブリシティ素材の整理収集、対メディア戦略の立案、プレスリリース等を実施した。 報道件数:1,576件(うちTV78件) 広告換算額:約123億円 メディアコンタクト数:369件 取材誘致件数:112件	パブリシティ活動強化事業 広告代理店に委託し、パブリシティ素材の整理収集、対メディア戦略の立案、プレスリリース等を実施。 (R2.9月末現在) 広告換算額 :約26億円
⑩いばらき文化情報ネット整備事業 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:234 R2 当初:238	市町村や県内文化施設と連携し、県内各地の音楽・演劇・伝統芸能・美術・祭り等の文化催事情報等をホームページ上で公開し、県民のニーズの多様化に対応したリアルタイムの情報提供を行う。	1 掲載内容 文化イベント情報、文化施設、文化活動団体、文化芸術活動への助成情報、県や国の取組、常陸国風土記、いばらきの伝統文化、茨城の先人たち、beyond2020プログラム認証事業 等 2 主な更新内容 文化イベント情報:52件 いばらきの伝統文化:特集記事:6件 3 アクセス件数 ページビュー数:141,337 セッション数:53,804	1 掲載内容 文化イベント情報、文化施設、文化活動団体、文化芸術活動への助成情報、県や国の取組、常陸国風土記、いばらきの伝統文化、茨城の先人たち、beyond2020プログラム認証事業 等 2 主な更新内容(R2.10月末現在) 文化イベント情報:42件 いばらきの伝統文化:特集記事:1件 3 アクセス件数(R2.10月末現在) ページビュー数:115,234 セッション数:46,377

(2) 推進体制の整備

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①文化審議会開催費 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:387 R2 当初:935	茨城県文化振興条例に規定する事項等文化振興に関し必要と認める事項について調査・審議する。	文化審議会の開催 ・期日:8月28日 ・議題:茨城県文化振興計画に基づく取組状況報告 委員意見への対応状況報告 意見交換	文化振興計画を推進するため、文化振興施策の実績等を文化審議会に報告し、事業の評価を行うとともに、今後の施策展開の参考とするため意見交換を行う。 ・期日:11月20日開催予定
②文化行政推進費(文化団体育成補助金) (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:3,976 R2 当初:3,976	県域文化活動団体が実施する講習会や研修事業等の経費を助成し、組織の強化と活性化を図る。	文化団体育成補助 ・茨城県文化団体連合 3,752千円 ・茨城ユネスコ連絡協議会 424千円	引き続き、県域文化活動団体が実施する講習会等の経費を助成し、組織の強化と活性化を図っていく。 文化団体育成補助 ・茨城県文化団体連合 3,752千円 ・茨城ユネスコ連絡協議会 224千円

【再掲】

- ・いばらき文化振興財団運営費補助(生活文化課)

(3) 文化施設の機能の充実

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①県民文化センター施設整備 (生活文化課)★12 決算額等(千円) R1 決算:68,586 現年:1,035 繰越:67,551 R2 当初:95,097 繰越:6,240	老朽化した施設・設備の改修を行い、施設の利便性の向上等に資する工事を行う。	次のとおり工事を行った。 ・一般展示室床及び集会室前廊下改修工事 ・大ホール迫上り設備改修工事 ・大ホールロビーエアコン新設工事 ・小ホール間知擁壁周辺安全対策工事 ・ターボ冷凍機点検整備 ・県民文化センター厨房内配管漏水緊急修繕 ・分館 Wi-Fi 環境構築工事 等	次のとおり工事を行っているところ。 ・温水ボイラー更新工事 ・展示棟屋上防水改修工事 ・分館電気室コンデンサー交換工事 ・分館電気室蓄電池交換工事 ・分館屋内消火栓設備修繕工事

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
②県民文化センター管理委託 (生活文化課)★12 決算額等(千円) R1 決算:200,185 R2 当初:204,851	県民の文化芸術活動を支える拠点施設として、本県の文化芸術の振興と県民教養の高揚を推進していく。	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料: 190,742 千円 備品購入(同時通訳ブースほか8点):9,444 千円 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料:195,169 千円 備品購入:9,682 千円 ※R1.2.27以降開催予定で、R2.6.12までに新型コロナウイルス感染症の影響による中止の申出があった催事については、キャンセル料を主催者に全額返還し、返還額分については、県から指定管理者へ補填した。
③県民文化センターコンベンション機能強化事業費★12 (生活文化課) 決算額等(千円) R1決算:1,696 千円 R2当初:- 繰越:137,170 千円	県民の文化芸術活動を支える拠点施設である県民文化センターのコンベンション機能を強化し、国際会議及び国内会議を誘致することにより、同センターの利用率の向上や地域の活性化を図る。	大ホール、小ホールに、映像設備(プロジェクター、カメラシステム等)、同時通訳機器(通訳ブース、赤外線送信機等)を整備。(R2. 4月に完成)	(R1年度をもって事業終了)
④アクアワールド茨城県大洗水族館施設整備★13 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:113,024 現年:78,203 繰越:34,821 R2 当初:196,513	老朽化した施設・設備の改修を行い、施設の利便性の向上等に資する工事を行う。	次のとおり工事を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・3,4,5階アトリウム系統空調機更新工事 ・照明制御設備更新工事 ・屋上防水改修工事 	次のとおり工事を行っているところ。 <ul style="list-style-type: none"> ・空調熱源設備更新工事 ・フードコート及び5階機械室給排気ファン更新工事

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
⑤アクアワールド茨城県大洗水族館魅力向上事業★13 (生活文化課) 決算額等(千円) R1 決算:74,207 繰越:74,207 R2 当初:(繰越し)700,000	展示内容等をリニューアルし、新たな魅力創出を図る。	以下に取り組んだ(R2 年度中に完了予定) ・四季の移ろいをテーマに幻想的な空間創出するクラゲ大水槽工事 ・「飲食・売店・ミュージアムゾーン」の一体的刷新 ・新感覚のイルカ・アシカオーシャンライブのための演出照明設置及び遮光カーテンの増設	(R1年度をもって事業終了)
⑥文化施設整備 (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:175,511 R2 当初:612,733	美術館・博物館の施設を安全かつ良好な環境に保つため必要な修繕等を実施する。	・防火シャッター危害防止装置改修工事 ・歴史館考古収蔵庫屋根改修工事 ・陶芸美術館空調設備更新工事 ・近代美術館照明設備更新工事	・五浦美術館空調設備改修工事 ・近代美術館照明設備更新工事
⑦近代美術館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:12,106 R2 当初: 3,920	優れた美術作品を収集するとともに、所蔵品の修復・保存等を行う。	日本画1点を収集。	優れた美術作品を収集するとともに、所蔵品の修復・保存等を行う。
⑧天心記念五浦美術館展示事業 (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:20,302 R2 当初: 9,300	岡倉天心記念室 岡倉天心の業績を遺品、書簡、写真パネルによって紹介するとともに、大観ら五浦の作家たちの作品や資料を紹介 ・企画展の開催	1 所蔵作品展の開催 所蔵作品の中から日本画を中心に4期展示した。 2 企画展の開催 ・画業 50 年記念 倉島重友展 会期:平成 31 年 4 月 20 日～令和元年 6 月 2 日 入館者数:9,100 人	1 所蔵作品展の開催 所蔵作品の複製画の中から日本画を中心に 2 期展示予定。 2 企画展の開催 ・現代日本画の歩み 天心記念茨城賞の作家たち 会期:令和 3 年 2 月 6 日～3 月 28 日

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>【前ページの続き】</p> <p>⑧天心記念五浦美術館展示事業 (文化課)</p>	<p>岡倉天心記念室</p> <p>岡倉天心の業績を遺品、書簡、写真パネルによって紹介するとともに、大観ら五浦の作家たちの作品や資料を紹介</p> <p>・企画展の開催</p>	<p>・近代陶芸の巨匠 板谷波山展 会期:令和元年6月7日～7月15日 入館者数:9,192人</p> <p>・入江明日香一心より心に伝ふる花なればー 会期:令和元年7月20日～9月1日 入館者数:11,003人</p>	
<p>⑨自然博物館常設展 (文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R1決算:23,556</p> <p>R2当初:24,417</p>	<p>「進化する宇宙」など5つのテーマにより常設展を開催する。</p>	<p>「進化する宇宙」「地球の生いたち」「自然のしくみ」「生命のしくみ」「人間と環境」の5つのブースに分類し常設展を開催した。また、開催にあたり必要な更新、メンテナンス、修繕等を行った。</p> <p>・常設展示保守点検、動刻設備メンテナンス</p> <p>・展示室照明点検</p> <p>・第3展示室「河川、湖沼、海の生態系」のLED化</p> <p>・第3展示室魚類展示コーナーにデジタルサイネージによる解説用ディスプレイを追加</p> <p>・ディスカバリープレイス植物コーナーの写真パネル入替と、解説パネル改訂及びさく葉標本棚修繕</p> <p>・展示ガイドシステム「ポケット学芸員」(展示解説)中国語版の追加及び対応タブレット貸出開始</p> <p>・「学芸員からこんにちは」、「茨城の自然インフォメーション」、「トピックスコーナー」の定期的な小規模更新</p>	<p>「進化する宇宙」など5つのテーマによる常設展の適切な開催を行うため、常設展示保守点検、修繕、照明のLED化、展示更新設計等行う。</p> <p>・常設展示保守点検、動刻設備メンテナンス</p> <p>・展示室照明点検</p> <p>・第1展示室「宇宙の誕生」プロジェクター修繕</p> <p>・第2展示室恐竜動刻コンプレッサー修繕</p> <p>・第2展示室サーベルタイガー展示更新</p> <p>・第3展示室深海生物資料の追加</p> <p>・DP走査電子顕微鏡排気系修繕</p> <p>・「学芸員からこんにちは」、「茨城の自然インフォメーション」、「トピックスコーナー」の定期的な小規模更新</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
⑩自然博物館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R1決算: 93,933 R2当初:123,997	・4回の企画展を開催する。	1 体験！発見！恐竜研究所ーようこそ未来の研究者ー 期間:平成31年2月17日～6月9日 入館者数:128,661人 2 狩ーハンターたちの研ぎ澄まされた技と姿ー 期間:令和元年7月6日～9月23日 入館者数:154,483人 3 宮沢賢治と自然の世界ー石・星・生命をめぐる旅ー 期間:令和元年10月12日～令和2年2月2日 入館者数:121,305人 4 さくら展ーまだ見ぬ桜に逢いに行くー 期間:令和2年2月22日～6月7日 入館者数:36,646人	1 さくら展ーまだ見ぬ桜に逢いに行くー 期間:令和2年2月22日～6月7日 入館者数:36,646人 2 深海ミステリー2020ーダイオウイカがみる世界ー 期間:令和2年7月18日～10月4日(当初:令和2年7月4日～9月22日) 3 いのち育むブナの森ー森のぬくもり, もりだくさん!ー 期間:令和2年10月31日～令和3年2月7日 (当初:令和2年10月17日～令和3年1月31日) 4 体験！発見！化石研究所(仮) 期間:令和3年2月27日～6月13日(当初:令和3年2月20日～6月13日)
⑪自然博物館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R1決算:1,910 R2当初:1,930	動物, 植物, 地学分野の展示用又は研究用資料の購入による収集と, 調査研究活動や寄贈資料受け入れによる収集によって博物館資料の充実を図る。	合計4,597点の資料を収集した(二次資料は除く)。 ・購入・製作資料:105点 ・採取資料:3,654点 ・寄贈資料:838点	県内の自然についての資料の収集を行う。

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>⑫自然博物館学術調査研究 (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:4,269 R2 当初:4,313</p>	<p>1 総合調査研究 八溝山地・阿武隈山地・県北部海岸を中心とした県北地域の調査研究</p> <p>2 分野別研究 動物, 植物, 地学の分野別に調査地点を選定した調査研究</p> <p>3 創造的調査研究 学芸員の専門性を生かした調査研究</p>	<p>1 総合調査 3つの団体(茨城植物調査会, 茨城動物調査会, 茨城地学調査会)に調査の委託を行った。調査では, 県内初記録種や希少種など, 貴重な標本を収集することができた。なお, 年度始めと終わりに調査会ごとに連絡会議を行い, 情報交換を行った。</p> <p>2 重点研究 大学や研究機関, 博物館, 行政などの外部機関と連携した調査研究を実施した。 ・茨城県におけるアライグマ防除のための基礎研究 ・菅生沼周辺におけるクリハラリスの分布把握と効果的な防除方法の検討 ・茨城県沖の動物相調査 ・宍塚大池付近の休耕田の植生調査 ・県内ブナ調査 ・筑波山塊およびその周辺地域の地質と地形について ・白亜系那珂湊層群の古生物相</p> <p>3 創造的調査研究 17名の職員が各テーマに沿って研究を行った。成果の一部は学会での発表のほか学会誌や学術雑誌への投稿を通じて公表した。</p>	<p>1 総合調査 今年度は, 第Ⅲ期第1次総合調査3年目として, 3つの団体に委託し, そこに当館の職員が加わって調査を実施している。茨城県の生物相やその変遷, 地質などの地学的特性を把握するための資料収集と目録作りを行っている。</p> <p>2 重点研究 以下のテーマで, 各種機関と連携して実施している。 ・茨城県におけるアライグマ防除のための基礎研究 ・菅生沼周辺におけるクリハラリスの分布把握と効果的な防除方法の検討 ・茨城県沖の動物相調査 ・宍塚大池付近の休耕田の植生調査 ・特定外来生物オオバナミズキンバイの防除 ・県内ブナ調査 ・筑波山地域の地質と地形, ジオパーク活動について ・白亜系那珂湊層群の古生物相</p> <p>3 創造的調査研究 学芸員の専門性を生かした調査研究を外部資金等も活用しながら進めている。学芸系職員の資質向上と情報共有を図るため, 館内での学芸研究</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>【前ページの続き】</p> <p>⑫自然博物館学術調査研究 (文化課)</p>			<p>発表会を継続して実施する。</p>
<p>⑬歴史館普及事業 (文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R1 決算:6,064</p> <p>R2 当初:5,953</p>	<p>各種講座や教室, 展覧会での展示解説などの普及事業を実施し, 歴史に親しんでもらうとともに, 利用促進を図る。</p>	<p>1 館内普及活動</p> <p>常設展展示解説:3,570 人</p> <p>特別展等展示解説:586 人</p> <p>講演会:1,085 人</p> <p>附属施設活用事業:385 人</p> <p>各種講座・教室:731 人</p> <p>歴史館に親しむイベント:14,348 人</p> <p>学校教育との連携事業:7,192 人</p> <p>郷土学習支援事業:4,129 人</p> <p>いちょうまつり:22,538 人</p> <p>2 館外普及活動</p> <p>学校教育との連携事業:2,398 人</p> <p>郷土学習支援事業:4,129 人</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により, 特別展等展示解説2回, 各種講座1回, 歴史館に親しむイベント1回を中止。</p>	<p>1 館内普及活動(人数はR2.6.30 現在)</p> <p>常設展展示解説:20 人</p> <p>特別展等展示解説</p> <p>講演会</p> <p>附属施設(水海道小学校等)活用事業</p> <p>各種講座・教室</p> <p>歴史館に親しむイベント</p> <p>学校教育との連携事業</p> <p>郷土学習支援事業</p> <p>いちょうまつり</p> <p>2 館外普及活動(人数はR2.6.30 現在)</p> <p>学校教育との連携事業</p> <p>郷土学習支援事業:79 人</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により, 講演会1回, 各種講座1回, 歴史館に親しむイベント3回を中止。</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>⑭歴史館展示事業 (文化課) 決算額等(千円) R1 決算:24,625 R2 当初:30,874</p>	<p>・「茨城の歴史をさぐる」をテーマに、茨城の原始古代から近現代までの歴史を概観できる常設展示を開催する。 ・また、特別展2回を開催するほか、考古、歴史、美術・工芸、民俗の部門から3回の企画展を開催する。</p>	<p>1 特別展 「佐竹氏－800年の歴史と文化－」 期間:2月8日～3月22日 入館者数:13,443人</p> <p>2 テーマ展 ① 「花ざかり－描かれた春夏秋冬－」(美術・工芸) 期間:4月20日～6月9日 入館者数:9,439人 ② 「いばらきスポーツのあゆみ－栄光の軌跡－」(全) 期間:9月5日～10月20日 入館者数:4,440人 ③ 「近代茨城の群像－新時代を生きた人びと－」(歴史) 期間:11月1日～12月22日 入館者数:13,672人</p>	<p>1 特別展 ① 「Jomon Period－縄文の美と技、成熟する社会－」(考古) 期間:10月10日～11月29日 ② 「鋼と色金－茨城の刀剣と刀装－」(美術・工芸) 期間:2月20日～4月11日</p> <p>2 企画展 ① 「鹿島神宮の宝－直刀・狛犬・鯰絵、そして祭頭祭・御船祭－」(民俗) 期間:4月11日～6月7日 ② 「戦争と茨城－茨城郷土部隊史料保存会所蔵史料から－」(歴史) 期間:7月18日～9月22日 ③ 「徳川斉昭と弘道館・偕楽園」(歴史) 期間:12月15日～1月31日</p>
<p>⑮まちづくり推進費 (都市計画課) 決算額等(千円) R1 決算:1,005 R2 当初:1,508</p>	<p>1 まちづくりシンポジウムの開催 開催地の実情や社会情勢に応じたテーマに基づき、講演やパネルディスカッション等を行うほか、「チャレンジいばらきまちづくり表彰」の表彰式を行う。 2 チャレンジいばらきまちづくり表彰 まちづくりに功績のあった者に対して表彰を行う。</p>	<p>1 まちづくりシンポジウム 令和2年1月18日 常陽芸文ホールで開催</p> <p>2 チャレンジいばらきまちづくり表彰 まちづくりシンポジウム内で表彰を実施</p>	<p>1 まちづくりシンポジウム 開催時期未定</p> <p>2 チャレンジいばらきまちづくり表彰 まちづくりシンポジウム内で表彰を実施する予定</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
㊿文化施設の連携体制の強化 (生活文化課・文化課) 決算額等(千円) R1 決算:- R2 当初:-	関東甲信越静ブロック文化・文化財行政主管課長協議会を共同で開催または、他県等で開催した際に出席することにより、文化財行政及び文化行政の連携を深める。	持ち回りにより、千葉県において当該会議を開催。 期日:11月8日 場所:千葉県立中央博物館	書面開催(持ち回りにより事務局は栃木県)

【再掲】

- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・近代美術館常設展(文化課)
- ・近代美術館企画展(文化課)
- ・つくば美術館美術普及事業(文化課)
- ・天心記念五浦美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館常設展(文化課)
- ・陶芸美術館企画展(文化課)
- ・陶芸美術館資料整備(文化課)
- ・自然博物館教育普及事業(文化課)

(4) 地域における文化活動の支援

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①地域創造の助成事業 (生活文化課) 決算額等(千円) R1決算:- R2当初:-	(一財)地域創造より募集のあった助成金について、県内市町村等に情報提供するとともに、とりまとめを行い、申請を行う。	(1) 地域の文化・芸術活動助成事業 採択 2 件: (公財)水戸市芸術振興財団 (公財)取手市文化事業団 (2) 地域伝統芸能等保存事業 採択 2 件:石岡市, 常陸大宮市	(1) 地域の文化・芸術活動助成事業 採択 1 件:(公財)取手市文化事業団 (2) 地域伝統芸能等保存事業 採択 2 件:石岡市, 常陸大宮市

【再掲】

- ・茨城県芸術祭(生活文化課)
- ・各文化活動への後援(生活文化課)
- ・いばらき文化振興財団運営費補助(生活文化課)
- ・文化行政推進費(生活文化課)

(5) 財政上の措置

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①文化振興基金積立金 (生活文化課) 決算額等(千円) R1決算: 302 R2当初:2,987	文化振興を図るため、安定した財源を確保し、文化振興を推進する。	R1運用益(受取利息) 302 千円 ・運用益を伝統文化総合支援事業に活用 ・基金の取崩しを茨城県文化プログラム推進事業に充当	基金の充当

(6) 顕彰

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
①ほう賞事務取扱費 (秘書課) 決算額等(千円) R1 決算:642 R2 当初:787	茨城県知事ほう賞事務取扱要領に基づき、賞状、感謝状、ほう状等の交付を行う。	・賞 状:1,122 枚 ・感謝状:1,331 枚 ・ほう状: 14 枚 ・表彰状:1,030 枚	・賞 状: 458 枚 ・感謝状: 639 枚 ・ほう状: 10 枚 ・表彰状: 560 枚 ※令和 2 年 10 月 31 日現在
②県功績者表彰費 (秘書課) 決算額等(千円) R1 決算:3,707 R2 当初:3,828	・茨城県表彰規則に基づき、県の名声を高めるとともに、広く県民から敬愛され、社会に明るい希望を与えたもの及び社会の進歩発展に著しい功労・功績のあった方等を表彰する。	・期日:令和元年 11 月 13 日 ・表彰対象者 49 人, 12 団体 県民荣誉賞表彰 2 団体 特別功労賞 1 人 功績者表彰 33 人・10 団体 新しいいばらきづくり表彰 6 人・2 団体 知事奨励賞表彰 7 人	・期日:令和 2 年 11 月 13 日 ・表彰対象者 46 人, 11 団体 特別功労賞 1 人 功績者表彰 35 人・8 団体 新しいいばらきづくり表彰 4 人・3 団体 知事奨励賞表彰 6 人

4 事業KPI

(1) 県政情報の到達度(単位: %) ★10

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	53.0	54.6	55.0	56.5	58.0
実績値	37.6	33.6	40.4	—	—
達成率(%)	70.9	61.5	73.5	—	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(1)① 県政情報紙発行費(「ひばり」)
- ・V(1)② ラジオ広報(県だより等)
- ・V(1)③ 政策広報(新聞広報等)
- ・V(1)④ 県政キャンペーン広報
- ・V(1)⑤ インターネット情報発信事業
- ・V(1)⑥ いばらきインターネットテレビ事業(いばキラ TV)

(2)メディアへの掲載件数（単位：件）★11

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	－	1,300	1,600	1,700	1,800
実績値	1,173	1,304	1,576	－	－
達成率(%)	－	100.3	98.5	－	－

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(1)⑦ メディア訪問強化事業
- ・V(1)⑧ メディア活力魅力発信強化事業
- ・V(1)⑨ パブリシティ活動強化事業

(3)県民文化センター利用率（単位：%）★12

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	－	72.5	77.0	80.0	80.0
実績値	79.6	73.6	67.4	－	－
達成率(%)	－	101.5	87.5	－	－

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(3)① 県民文化センター施設整備
- ・V(3)② 県民文化センター管理委託
- ・V(3)③ 県民文化センターコンベンション機能強化事業費

(4)アクアワールド茨城県大洗水族館入館者数（単位：万人）★13

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	－	113	113	120	125
実績値	113	112	106	－	－
達成率(%)	－	99.1	93.8	－	－

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(3)④ アクアワールド茨城県大洗水族館施設整備
- ・V(3)⑤ アクアワールド茨城県大洗水族館魅力向上事業

5 事業の評価

【概ね期待通りの成果】

「県政情報の到達度」は73%と8割に満たなかったが、「メディアへの掲載件数」は、ほぼ100%となった。また、「県民文化センター利用率」、「アクアワールド茨城県大洗水族館入館者数」とも指標の達成率は8割を超えたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年度実績を下回る結果となった。

6 今後の展開・方向性

ホームページやSNSなどの情報発信媒体を活用して、文化芸術に対する県民の意識醸成を図っていく。

県立文化施設については、施設の利便性向上や老朽化対策を行い、適切な維持管理に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図り、引き続き利用者に安全・安心で快適な空間を提供していく。また、ザ・ヒロサワ・シティ会館（県民文化センター）及びアクアワールド茨城県大洗水族館については、様々な誘客促進策を実施することにより、利用者・入館者の回復を図っていく。

VI いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会及び東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化の向上

1 施策の方向

大会イベント等を通じて、茨城の魅力を発信し、文化の振興と地域の活性化を図る。さらに、大会終了後の文化活動と地域の継続的な活性化につなげる。

2 課題

文化プログラムの認証制度を活用しながら、茨城ならではの数多くの文化プログラムを実施することにより、文化活動を活性化させ、その魅力を県内はもとより、全国や世界に向けて発信するとともに、大会終了後も長期的にその成果を持続させていく必要がある。

3 県の取組状況

(1) いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会における文化プログラムの実施

事業名	事業内容	R1年度実績	R2 年度取組状況
①第74回国民体育大会推進事業 (産業政策課) 決算額等(千円) R1 当初:34,282 文化プログラム:3,937 eスポーツ:30,345 R2 当初: -	茨城国体・障害者スポーツ大会の文化プログラムとして、県内で行われるイベント等を取りまとめ発信するとともに、本県の文化・歴史等を活用した事業を行うことで、本県の有する資源、魅力を再発見し、国内外に発信する機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・後編文化プログラム事業パンフレット(後編:8月～12月)を作成し、配布。 ・県主催事業として、次の事業を実施。 ①全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2019 IBARAKI 茨城県予選 期間:4月～8月 ②全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2019 IBARAKI 期間:10月5日～6日 ③リボン・アートボール展 期間:9月29日～10月14日 	R1 年度で事業終了

(2) 東京オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムの実施

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>①東京オリンピック・パラリンピック推進事業費★14 (オリンピック・パラリンピック課) 決算額等(千円) R1決算: 801 R2当初:2,994</p>	<p>茨城県がホストタウンとなっているベルギー、ベトナムとの交流を進めるため、大使館職員等を招き、講演会等を実施する。</p>	<p>ベルギー交流事業を実施</p> <p>1 事前キャンプ受入に伴う選手交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開練習(陸上リレーチーム, 女子バスケットボールチーム) ・日本文化体験(女子バスケットボールチーム) ・小学校訪問・走り方授業(マラソン代表選手) <p>2 地域イベントPR ブース出展(水戸黄門まつり, ひたちなか祭り等)</p> <p>3 ベルギーを学ぶ授業・給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐日ベルギー大使, 一等書記官による小学校での授業(水戸・ひたちなか) ・ベルギーにちなんだ給食提供(ひたちなか) <p>4 世界チョコレートフェスティバル(場所: 県庁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホストタウン登録記念チョコレート制作 ・ベルギー・フランダース政府観光局による講演等 <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により, ベトナムホストタウン交流事業は中止。</p>	<p>県内におけるベルギー, ベトナムに対する理解を深めるため, ベルギーやベトナムの文化等を紹介する取組を行う。</p> <p>イベント等において, ホストタウン交流事業をPR する。</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら, 実施を検討。</p>
<p>②茨城県文化プログラム推進事業★15 (生活文化課)</p>	<p>2019年の茨城国体, 2021年のオリンピック・パラリンピックという二つの大きなスポーツの祭典を契機に, 多くの県民等の参加による文化プログラムを実施し, 本県の文化の魅力を国内外に発信する。</p>	<p>平成29年度及び平成30年度に表彰した優秀提案をもとに, 県が事業化に取り組む。</p> <p>1 リボン・アートボール2020展</p> <p>アスリートが使用した廃ボール等をアートで再生。スポーツと芸術とエコが一体化した取組。</p>	<p>平成29年度及び平成30年度に表彰した優秀提案をもとに, 県が事業化に取り組む。</p> <p>1 リボン・アートボール2020展</p> <p>アスリートが使用した廃ボール等をアートで再生。スポーツと芸術とエコが一体化した取組。</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>【前ページの続き】</p> <p>②茨城県文化プログラム推進事業★15 (生活文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R1決算:17,820</p> <p>R2当初:17,980</p>		<p>①ワークショップの開催 計10回 1,641名参加</p> <p>②作品コンテストの開催 応募数:子どもの部 46件, 一般の部 60件</p> <p>③展示会の開催 文部科学省 5/7～8/23 つくば美術館 10/8～10/14 県庁 10/26～11/10 筑波大学東京キャンパス 2/3～3/28 総来場者数:約 23,600名</p> <p>2 茨城のヒーロー写真展 ①「茨城のヒーロー」をテーマとした写真コンテストを開催 応募数:169件 ②世界的に有名な写真家であるヨシダナギ氏の写真展を開催 期間:10月26日～11月10日 来場者数:13,149名</p>	<p>①ワークショップの開催 計10回予定</p> <p>②フェスティバルの開催 ・ワークショップと作品展示を組み合わせたイベントを実施 鹿嶋市まちづくり市民センター 7/24～8/2 イオンモールつくば 11/30～12/6 予定</p> <p>③PR動画の作成 ・当該事業のPR動画やメイキング動画を作成し、県ホームページ等で公開</p>
<p>③文化プログラム認証事業 (生活文化課)★15</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R1決算:2,505</p> <p>R2当初:3,121</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、開催地となる本県でも県内各地で実施される文化イベントを文化プログラムとして認証し、本県文化の魅力を国内外に積極的に発信していく。</p>	<p>通知や各種会議の場において、市町村や文化団体等に認証の申請を働きかけた。</p> <p>・beyond2020 プログラム本県が認証した件数 665件</p>	<p>通知や各種会議の場において、市町村や文化団体等に認証の申請を働きかけている。</p> <p>・beyond2020 プログラム本県が認証した件数 747件(令和2年9月末現在)</p>

事業名	事業内容	R1年度実績	R2年度取組状況
<p>④オリンピック・パラリンピック教育推進事業 (保健体育課)</p> <p>決算額等(千円) R1決算:4,323 R2当初:5,954</p>	<p>・オリンピック・パラリンピック教育推進事業は、スポーツ庁との委託契約に基づく事業である。</p> <p>・オリンピック・パラリンピック教育推進校を指定し、全国中核拠点の筑波大学と連携しながら、最新の知見をもとに教育実践を行い、オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成を図るとともに、スポーツの価値への理解を深め、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等、多面的な教育の充実を図る。</p> <p>・実践研究の成果を教育現場に発信し、スポーツに対する理解と関心を高め、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの普及・推進を図る。</p>	<p>1 教育推進校 33 校 (内訳) ・小学校:21 校 ・中学校:9校 ・県立高等学校:2校 ・県立特別支援学校:1校</p> <p>2 教育推進校セミナー 期日:6/20 開催 対象:教育推進校及び教育推進校の市町村教育委員会</p> <p>3 教育推進事業の実践 各推進校にて7月～2月に実施</p> <p>4 教育推進校ワークショップ 期日:2/21 開催 対象:教育推進校</p> <p>5 教育推進校事業実施報告書の作成・配付 配布先:県内小・中学校, 県立学校等</p>	<p>1 教育推進校 33 校 (内訳) ・小学校:25 校 ・中学校:5校 ・県立高等学校:2校 ・県立特別支援学校:1校</p> <p>2 教育推進校セミナー(文書による開催) 対象:教育推進校及び教育推進校の市町村教育委員会</p> <p>3 教育推進事業の実践 各推進校にて7月～2月に実施(現在実施中)</p> <p>4 教育推進校ワークショップ 期日:2月開催予定 対象:教育推進校</p> <p>5 教育推進校事業実施報告書の作成・配付 配布先:県内小・中学校, 県立学校等</p>

4 事業KPI

(1) 事前キャンプ誘致に取り組む市町村数 ★14

	2017(基準)	2018	2019(目標)
目標値	—	21	26
実績値	28	29	27
達成率(%)	—	138.1	103.8

【事業 KPI を構成する関連事業】

・ VI (2) ① 東京オリンピック・パラリンピック推進事業費

(2) 文化プログラム認証件数(単位:件) ★15

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	230	460	700	900
実績値	4	334	665	—	—
達成率(%)	—	145.2	144.6	—	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

・ VI (2) ② 茨城県文化プログラム推進事業

・ VI (2) ③ 茨城県文化プログラム認証事業

5 事業の評価

【期待以上の成果】

事前キャンプ誘致に取り組む市町村数、文化プログラム認証件数のいずれも達成率が100%を超えている。

6 今後の展開・方向性

東京オリンピック・パラリンピック開催に関係する市町村を中心に連携を図り、東京2020文化オリンピアドやbeyond2020プログラムの認証・申請を活用しながら、地域ならではの文化芸術を世界に向けて発信していく。

さらに、こうした取組から得られた知見を、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシー（文化遺産）の創出に繋がるよう活かしていく。

オリンピック・パラリンピック教育推進事業を実施することにより、本県のオリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成を図り、スポーツの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解及び共生社会への理解等、多面的な教育の充実を図る。